

# 飼料 | 工場の再編により飼料供給体制を合理化 全農グレインの船積能力の増強で原料調達力を強化

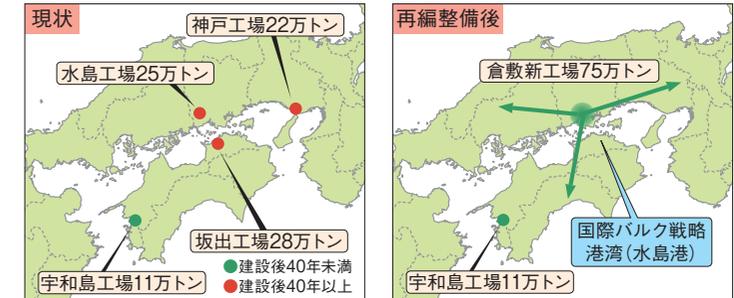
## 取り組み目標

- 製造・供給体制の合理化
  - くみあい飼料工場の集約や他メーカーとの連携による飼料工場の再編
  - 製造数量が月間10ト以下の小ロット銘柄(約500銘柄)の2割削減
- 原料の調達力強化
  - 穀物需要が増加するアジアなどへの販売拡大と米国・ブラジルなど産地での調達力強化

## 進捗状況

- ✓ 2017年6月、JA西日本くみあい飼料(株)で倉敷新工場が稼動。17年9月に水島工場、18年3月に神戸工場の製造を移管し、現在、坂出工場の製造移管を実施中。
- ✓ 製造数量が月間10ト以下の小ロット銘柄について、約500銘柄(16年4~6月期)から310銘柄(18年7~9月期)まで減少し、2割以上の削減を達成。
- ✓ 米国では18年4月、全農グレイン(株)が原料船積能力を増強(年間1900万ト、以前より550万ト増)し、稼動。穀物集荷を担うCGB社の内陸の集荷拠点の拡充を実施中。
- ✓ ブラジルでは17年7月、現地穀物取扱業者(ALZ社)へ出資し、内陸集荷から輸出までの一貫体制を構築。

## ■ 西日本地区における配合飼料供給体制整備



船積能力を増強した全農グレイン(株)